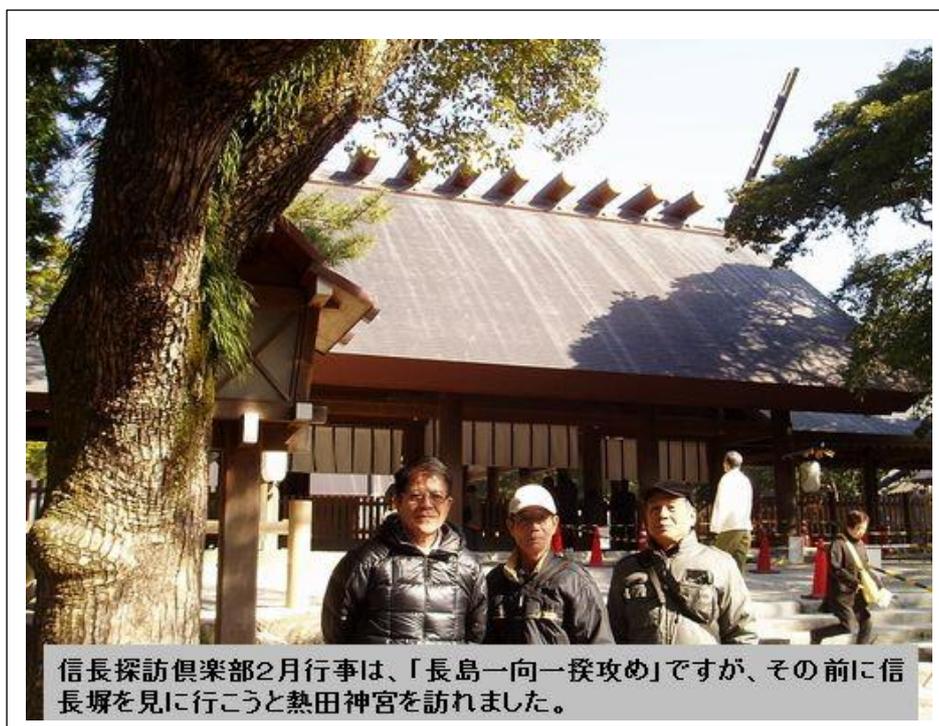


長探訪倶楽部2月行事 長島一向一揆攻め

11月行事の「浅井、朝倉攻め」にいたるまでに、信長は志賀の陣で動けないおりに弟信興が長島一向一揆に攻められ、自害させられたこともあり、1571年に第1回長島攻めを行い失敗、1573年ようやく浅井、朝倉を滅亡させた信長は第2回長島攻めを行ったがこれも失敗、1574年今度こそはと8万の大軍と水軍を組織して、ついに一向一揆に勝利することができた。このとき津、白子に倣って桶からも船を出したといわれる。

長島一向一揆の戦い跡は、長島城跡、願証寺跡を示す説明板あるのみで、昔を偲ぶようではないですが、「輪中の郷」の歴史好きな館員の方から、信長が一揆側2万人を焼き殺したと伝わるけれど、長島の経済力を考えたらそんな馬鹿なことをするわけがないと説明を受け、ホッとしたものである。





信長を一躍有名にした桶狭間の戦いのおり、信長は熱田神宮に立ち寄り必勝祈願をして、今川軍に勝利することができた。このお礼として奉納したのが、築地塀・信長塀である。



帰りに立ち寄った宝物館の館員に確認したところでは、これまで地震で崩壊したことはない由。出来栄を確認に来たであろう信長の顔が浮かんできますね。



若い頃、初詣に訪れたときには目にも留めなかった大楠が目に入った。弘法大師お手植え、樹齢千年以上とあり、熱田神宮の歴史に思いを致した次第。



熱田神宮から足を延ばして、熱田から桑名までの海上七里の渡し場である「宮の渡し公園」を訪れた。常夜灯や時の鐘が再建されており、かつての情景が偲べれます。当時は250軒の旅籠で大賑わいだったそうです。



この地で右から流れ込む堀川の浄化に取り組む方の熱い話を伺った。左に切り取った葦が立てかけてあるが、葦の土壌を工夫することにより、葦の浄化作用が格段に向上する由。思わぬ出会いがあるものだ。



ようやく本来の訪問先である長島城跡に到着した。といっても写真の説明看板があるだけである。長島中部小学校の敷地に建っている。1540年の一向一揆蜂起、1541年からの1544年にわたる信長軍3度にわたる侵攻の結果、最後に一揆軍2万人が焼き殺される結果となった。



長島城跡と国道を挟んで反対側にある願証寺を訪れた。願証寺は長島一向一揆の中心寺であったが、現在は長良川に水没、説明板が残るのみである。訪れた願証寺は江戸時代に建てられ、明治になって現在の名称になったよし。有志による一向一揆殉教の碑が建っている。



現在の願証寺正門前にて記念撮影。このあと「輪中の郷」を訪問した。